# 令和7年度みやぎゼロカーボンアワード 応募用紙

1	表彰候補者の情報
- 1	77月が15年11日初

· 2417174110 H · ·						
ふりがな						
氏名又は 会社・団体名						
ふりがな						
代表者氏名※			表彰候補者情報をご記入ください			
住所又は						
所在地	'					
電話番号	(	)	_			
Eメール						
アドレス						

- ※表彰候補者が会社・団体の場合のみ記入してください。
- 2 表彰候補者の担当者情報(表彰候補者が会社・団体の場合のみ記載) 本賞に関する事務連絡の窓口となる担当者について記載してください。

一					
ふりがな					
担当者氏名		部署・役職			
住所又は 所在地※	〒 −	担当者情報をご記入ください			
電話番号※	( )	※1と同一の場合は記載不要です			
E メール アドレス※					

※1と同一の場合は記載不要です。

#### 【他薦の場合のみ】推薦者の情報

	♥プリア』   正局日♥プ 日・	-tx	
ふりがな			
氏名又は 会社・団体名			
住所又は 所在地	〒 –		
担当者氏名※		他薦の場合のみ	
電話番号	( )	推薦者の情報をご記入ください	
E メール アドレス			
推薦理由		「4~6」は以下の記入例を参考とし、取組・活動について具体	
※推薦者が会社・団体の場合のみ記			
4 取組・活動の	基本情報		

取組・活動の内容を簡潔に表す名称(タイトル)を記載してください。

名称 (タイトル)

地域と共生するゼロカーボン製造業への挑戦 ~再生可能エネルギー活用と地域連携モデル の構築~

他の受賞歴

表彰の名称(当該取組・活動について、他の団体等から表彰を受けたことがある場合は記載してください)

環境省「○○○アワード」特別賞(令和5年度)、文部科学省「○○○表彰」優秀賞(令和4年度)

### 5 取組・活動の概要

### (1)背景と目的

当社は、宮城県に本社を構える工業製品メーカーとして、「環境と共に成長するものづくり企業」を目指しています。気候変動やエネルギー問題の深刻化を受け、2019年より脱炭素への取り組みを本格化しています。再生可能エネルギーの導入、省エネ設備の活用、廃棄物削減、地域との連携によるカーボンオフセットなどを通じ、持続可能な地域社会への貢献を目指しています。

### (2) 具体的な内容

- ·本社工場・倉庫に太陽光発電設備(150kW)を設置し、使用電力の約○○%を自家発電化。
- ·LED 照明化、高効率モーター・空調・コンプレッサーへの更新などを通じて省エネを推進。
- ・工場から出る廃材・副産物の分別と再資源化により、リサイクル率を○○%まで向上。
- ・地元学校と連携した工場見学や出前講座の実施など、地域住民への環境教育活動の場を提供。

### (3)地球温暖化対策としての効果

(再エネ・省エネによる温室効果ガス排出削減量(電力・燃料等の削減量)や普及啓発人数など、具体的な数値が分かる場合には記載願います)

- ・太陽光発電の導入、高効率設備への切替により年間約○○トンの CO₂排出削減、電力消費量年間○○%削減を実現
- ・廃棄物再資源化により、廃棄物量年間○○%減少
- ・環境教育・見学会への参加者:年間延べ約○○○名(地域の児童・保護者・学生含む)

#### 6 取組・活動の PR ポイント

# (1) 取組・活動内容の「先導性・先進性・独創性」について

県内中小企業としては先進的にエネルギーマネジメントシステム (EMS) を自社設計で導入し、リアルタイムのエネルギー使用量を可視化。再エネ活用に加え、製造副産物の地域内資源循環モデルを構築し、さらに地元学校との連携による環境教育を一体的に行う点が独自性と考えています。

#### (2) 取組・活動の「継続性(開始時期・実施期間・頻度 等)」について

2019年に環境方針を明文化し、取組を開始。以降、毎年新たな施策を追加導入しており、現在も月1回の環境委員会、年2回の報告会、四半期ごとのデータレビューを継続。地域イベントや教育連携も年3~4回実施中です。

# (3) 取組・活動の「県民や県内事業者等への波及性」について

地元商工会・産業振興団体と連携し、当社の事例を発表。見学希望企業も増えており、環境施策の中小製造業向けモデルとしての波及効果が期待されます。また、環境教育を通じて地域住民の環境に対する意識醸成にも貢献し、家庭内や生活における「省エネ」「脱炭素」に関わる行動にもつながっています。

# (4) 取組・活動の「応用・発展可能性(今後の計画・展望など)」について

2030 年までに Scope1・2 排出のカーボンニュートラル達成を目指し、廃棄物の再資源化に係る技術開発やさらなる再工ネ設備増設、断熱強化を計画しています。また、協力企業や自治体との連携を深め、地域内資源循環モデルの拡大やサプライチェーン全体での脱炭素化にも着手予定です。

#### (5) その他

※上記以外で PR ポイントがありましたらご記入ください。

#### 7 アンケート

(1)表彰候補者は「みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 県民会議」の会員ですか?

☑会員である(会員登録済み) □会員でない

※県民会議の趣旨に御賛同いただける場合は、下記リンクより会員登録に御協力願います(登録無料)。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/zero-carbon-challenge2050.html

(2) みやぎゼロカーボンアワードを何で知りましたか?

□県ホームページ	□新聞	□テレビ	□ラジオ	□X(旧 twitter)	⊠Instagram
□ Eacabook	ロマポロ	「ハヘスエム」	いごひめざし		

□Facebook □アプリ「eco チャレンジみやぎ」

)

□その他(

# 8 その他

- (1)会社・団体の概要資料(パンフレット等)や、活動状況が分かる資料(キャプション付きの写真等)を添付願います。
- (2) 共同での応募の場合、1、2には表彰候補者(代表)の情報を記載願います。表彰候補者(代表を除く) については、1、2の情報を記載した書類(任意様式)を別途作成し、添付願います。
- (3) 御記載いただいた個人情報等は、本事業の目的以外に使用しません。
- (4) 記載欄が不足する場合は、自由に広げていただいて構いません。